

年度 / AY	2025
研究科 / Graduate School	人文学研究科
課程 / Program	修士課程 博士後期課程
専攻 / Major	真宗学 仏教学 哲学 仏教文化 国際文化 教育・心理学 全専攻共通
入試方式 / Admission Method	一般(秋季) 一般(春季) 留学生入試 社会人
試験科目 / Exam Subject	専門 外国語 日本語 小論文
出題意図／解答又は解答例 Intent of the question / Answer or example of answer 著作物の権利等の理由により掲載していない試験問題等 ➡ 該当あり (Reasons for not publishing exam questions)	
<p>【入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー AP）】</p> <p>教育目標を達成するために、大学院博士後期課程で求めているのは、次のような人である。</p> <p>(AP1) 専攻学問分野と関連分野に関する高度な専門知識を有する。(知識・理解)</p> <p>(AP2) 自らの学問的問題を計画的、継続的、系統的に探究できる。(思考・判断)</p> <p>(AP3) 専攻学問分野に貢献する学問的問題の発見と探究に意欲をもっている。(関心・意欲)</p> <p>(AP4) 専攻学問分野の高度な探究に必要な読解力と表現力を有している。(技能・表現)</p>	
<p>【出題の意図】</p> <p>本学人文学研究科のアドミッションポリシーをふまえ、以下の3点を確認する意図で出題した。①真宗学に関する基礎知識と文献読解力を有しているか。 ②真宗学のテキストをふまえた考察力を有しているか。 ③学位請求論文執筆に必要な読解力と表現力を有しているか。</p> <p>【出題内容、解答・解答例、採点のポイント等】</p> <p>専門Ⅰは「次の文を読んで、その意味内容について詳しく述べよ。」という設問で、『教行信証』「信巻」の文を掲げた（『定本教行信証』親鸞聖人全集刊行会、法蔵館刊による。なお漢文は白文）。親鸞が第十八願成就文の「聞其名号信心歡喜乃至一念」についてどのように確認しているかと、その基礎的理解、それに関連する事柄を総合的にふまえて論述する必要がある。</p> <p>専門Ⅱは「次の文を読んで、その意味内容について詳しく述べよ。」という設問で、『教行信証』「行巻」の文を掲げた（『定本教行信証』親鸞聖人全集刊行会、法蔵館刊による。なお漢文は白文）。親鸞は念仏を阿弥陀仏の本願との関わりからどう確かめているのか、その基礎的理解、それに関連する事柄を総合的にふまえて論述する必要がある。</p> <p>〈採点のポイント〉</p>	

真宗学を専攻し、学位請求論文を執筆するにあたって、『教行信証』の読解が十分にできていることが必要である。本文の基本的な了解と関連する事項をふまえた総合的な論述ができているか。

年度 / AY	2025
研究科 / Graduate School	人文学研究科
課程 / Program	修士課程 <u>博士後期課程</u>
専攻 / Major	真宗学 <u>仏教学</u> 哲学 仏教文化 国際文化 教育・心理学 全専攻共通
入試方式 / Admission Method	一般(秋季) <u>一般(春季)</u> 留学生入試 社会人
試験科目 / Exam Subject	<u>専門</u> 外国語 日本語 小論文
出題意図／解答又は解答例 Intent of the question / Answer or example of answer 著作物の権利等の理由により掲載していない試験問題等 ➡ 該当あり (Reasons for not publishing exam questions)	
<p>【入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー AP）】</p> <p>教育目標を達成するために、大学院博士後期課程で求めているのは、次のような人である。</p> <p>(AP1) 専攻学問分野と関連分野に関する高度な専門知識を有する。(知識・理解)</p> <p>(AP2) 自らの学問的問題を計画的、継続的、系統的に探究できる。(思考・判断)</p> <p>(AP3) 専攻学問分野に貢献する学問的問題の発見と探究に意欲をもっている。(関心・意欲)</p> <p>(AP4) 専攻学問分野の高度な探究に必要な読解力と表現力を有している。(技能・表現)</p>	
<p>【出題の意図】</p> <p>博士課程において仏教学研究に取り組むために必要な専門的能力を有しているかを確認する意図で出題した。</p> <p>【出題内容、解答・解答例、採点のポイント等】</p> <p>専門 I には問題 1 と問題 2 を設けている。問題 1 は仏教用語の意味説明を求めるものであり、問題 2 は複数の仏教用語や人名・文献名などの固有名詞から一つを選択させ、その意味説明や解説をさせるものである。これらの問題は、仏教の基本的思想を正しく理解できているかどうか、自身の研究に結びつけて論理的に説明できているかどうかを採点のポイントとしている。問題 II はサンスクリット語・パーリ語・漢文・チベット語の一節のうちいずれかを選択させ、その和訳を求めるものである。この問題は、専門的な仏教学研究に取り組むために必要が語学能力を問うものである。</p>	

年度 / AY	2025
研究科 / Graduate School	人文学研究科
課程 / Program	修士課程 博士後期課程
専攻 / Major	真宗学 仏教学 哲学 仏教文化 国際文化 教育・心理学 全専攻共通
入試方式 / Admission Method	一般(秋季) 一般(春季) 留学生入試 社会人
試験科目 / Exam Subject	専門(共通問題) 専門(英語文献) 外国語 日本語 小論文
出題意図／解答又は解答例 Intent of the question / Answer or example of answer 著作物の権利等の理由により掲載していない試験問題等 ➡ 該当あり (Reasons for not publishing exam questions)	
<p>【入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー AP）】</p> <p>教育目標を達成するために、大学院博士後期課程で求めているのは、次のような人である。</p> <p>(AP1) 専攻学問分野と関連分野に関する高度な専門知識を有する。(知識・理解)</p> <p>(AP2) 自らの学問的問題を計画的、継続的、系統的に探究できる。(思考・判断)</p> <p>(AP3) 専攻学問分野に貢献する学問的問題の発見と探究に意欲をもっている。(関心・意欲)</p> <p>(AP4) 専攻学問分野の高度な探究に必要な読解力と表現力を有している。(技能・表現)</p>	
<p>【出題の意図】</p> <p>本学人文学研究科のアドミッション・ポリシーを踏まえ、博士課程で学んでゆくために必要な哲学に関する専門的能力を有しているかを確認する意図で出題した。</p> <p>【出題内容、解答・解答例、採点のポイント等】</p> <p>出題内容は以下の通りである。専門Ⅰの問題においては、野田又夫『パスカル』からの日本語文について、「考える葦」に関する著者の見解をまとめること、その見解に対する自身の考えを述べることを求めた。専門Ⅱの問題では、Thomas Nagel の <i>Mortal Questions</i> からの英語文について和訳を求めた（辞書参照可能）。</p> <p>採点のポイントは以下の通りである。①哲学に関する専門的事項を適切に説明できているか。②哲学に関する専門的文章を正確に読解できているか。③自身の考えを論理的な文章で表現できているか。</p>	

年度 / AY	2025
研究科 / Graduate School	人文学研究科
課程 / Program	修士課程 博士後期課程
専攻 / Major	真宗学 仏教学 哲学 仏教文化 国際文化 教育・心理学 全専攻共通
入試方式 / Admission Method	一般(秋季) 一般(春季) 留学生入試 社会人
試験科目 / Exam Subject	専門(ドイツ語文献) 外国語 日本語 小論文
出題意図／解答又は解答例 Intent of the question / Answer or example of answer 著作物の権利等の理由により掲載していない試験問題等 ➡ 該当あり (Reasons for not publishing exam questions)	
<p>【入学者受入れの方針 (アドミッション・ポリシー AP)】</p> <p>教育目標を達成するために、大学院博士後期課程で求めているのは、次のような人である。</p> <p>(AP1) 専攻学問分野と関連分野に関する高度な専門知識を有する。(知識・理解)</p> <p>(AP2) 自らの学問的問題を計画的、継続的、系統的に探究できる。(思考・判断)</p> <p>(AP3) 専攻学問分野に貢献する学問的問題の発見と探究に意欲をもっている。(関心・意欲)</p> <p>(AP4) 専攻学問分野の高度な探究に必要な読解力と表現力を有している。(技能・表現)</p>	
<p>【出題の意図】</p> <p>本学人文学研究科のアドミッション・ポリシーを踏まえ、博士課程で学んでゆくために必要な哲学に関する専門的能力を有しているかを確認する意図で出題した。</p> <p>【出題内容、解答・解答例、採点のポイント等】</p> <p>出題内容は以下の通りである。専門Ⅰの問題においては、鈴木大拙「時間と永遠」からの日本語文について、「永遠の生命」に関する著者の見解をまとめること、その見解に対する自身の考えを述べることを求めた。専門Ⅱの問題では、Heinrich Heine の <i>Zur Geschichte der Religion und Philosophie in Deutschland</i> からのドイツ語文について和訳を求めた(辞書参照可能)。</p> <p>採点のポイントは以下の通りである。①哲学に関する専門的事項を適切に説明できているか。②哲学に関する専門的文章を正確に読解できているか。③自身の考えを論理的な文章で表現できているか。</p>	

年度 / AY	2025
研究科 / Graduate School	人文学研究科
課程 / Program	修士課程 <u>博士後期課程</u>
専攻 / Major	真宗学 仏教学 <u>哲学</u> 仏教文化 国際文化 教育・心理学 全専攻共通
入試方式 / Admission Method	一般(秋季) <u>一般(春季)</u> 留学生入試 社会人
試験科目 / Exam Subject	<u>専門(フランス語文献)</u> 外国語 日本語 小論文
出題意図／解答又は解答例 Intent of the question / Answer or example of answer 著作物の権利等の理由により掲載していない試験問題等 ➡ 該当あり (Reasons for not publishing exam questions)	
<p>【入学者受入れの方針 (アドミッション・ポリシー AP)】</p> <p>教育目標を達成するために、大学院博士後期課程で求めているのは、次のような人である。</p> <p>(AP1) 専攻学問分野と関連分野に関する高度な専門知識を有する。(知識・理解)</p> <p>(AP2) 自らの学問的問題を計画的、継続的、系統的に探究できる。(思考・判断)</p> <p>(AP3) 専攻学問分野に貢献する学問的問題の発見と探究に意欲をもっている。(関心・意欲)</p> <p>(AP4) 専攻学問分野の高度な探究に必要な読解力と表現力を有している。(技能・表現)</p>	
<p>【出題の意図】</p> <p>本学人文学研究科のアドミッション・ポリシーを踏まえ、博士課程で学んでゆくために必要な哲学に関する専門的能力を有しているかを確認する意図で出題した。</p> <p>【出題内容、解答・解答例、採点のポイント等】</p> <p>出題内容は以下の通りである。専門Ⅰの問題においては、W・V・クワインの『哲学事典』「心対身体」の項からの日本語文について、「古くからある心身二元論」についての著者の見解をまとめること、その見解に対する自身の考えを述べることを求めた。専門Ⅱの問題では、J.Hardyの <i>Aristote Poétique</i> からのフランス語文、Thomas Nagelの <i>The Last Word</i> からの英語文、Friedrich Jaegerの ‘Geschichte’ からのドイツ語文をそれぞれ問題1から問題3とし、いずれか1題を選んで和訳することを求めた（辞書参照可能）。</p> <p>採点のポイントは以下の通りである。①哲学に関する専門的事項を適切に説明できているか。②哲学に関する専門的文章を正確に読解できているか。③自身の考えを論理的な文章で表現できているか。</p>	

年度 / AY	2025
研究科 / Graduate School	人文学研究科
課程 / Program	修士課程 博士後期課程
専攻 / Major	真宗学 仏教学 哲学 仏教文化 国際文化 教育・心理学 全専攻共通
入試方式 / Admission Method	一般(秋季) 一般(春季) 留学生入試 社会人
試験科目 / Exam Subject	専門(共通) 外国語 日本語 小論文
出題意図／解答又は解答例 Intent of the question / Answer or example of answer 著作物の権利等の理由により掲載していない試験問題等 ➡ 該当あり (Reasons for not publishing exam questions)	
<p>【入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー AP）】</p> <p>教育目標を達成するために、大学院博士後期課程で求めているのは、次のような人である。</p> <p>(AP1) 専攻学問分野と関連分野に関する高度な専門知識を有する。(知識・理解)</p> <p>(AP2) 自らの学問的問題を計画的、継続的、系統的に探究できる。(思考・判断)</p> <p>(AP3) 専攻学問分野に貢献する学問的問題の発見と探究に意欲をもっている。(関心・意欲)</p> <p>(AP4) 専攻学問分野の高度な探究に必要な読解力と表現力を有している。(技能・表現)</p>	
<p>【出題の意図】</p> <p>歴史・文学それぞれの専門分野と仏教をはじめとする宗教との関係を理解できているかを問う。</p> <p>【出題内容、解答・解答例、採点のポイント等】</p> <p>日本の歴史・文学、中国の歴史・文学、西洋の歴史の中から各自の専門分野と、仏教をはじめとする宗教との関係について説明させる。専門分野の知識が修得できており、それと宗教の関係が説明できているかが問われる。</p>	

年度 / AY	2025
研究科 / Graduate School	人文学研究科
課程 / Program	修士課程 博士後期課程
専攻 / Major	真宗学 仏教学 哲学 仏教文化 国際文化 教育・心理学 全専攻共通
入試方式 / Admission Method	一般(秋季) 一般(春季) 留学生入試 社会人
試験科目 / Exam Subject	専門(日本文化日本史) 外国語 日本語 小論文
出題意図／解答又は解答例 Intent of the question / Answer or example of answer 著作物の権利等の理由により掲載していない試験問題等 ➡ 該当あり (Reasons for not publishing exam questions)	
【入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー AP）】 教育目標を達成するために、大学院博士後期課程で求めているのは、次のような人である。 (AP1) 専攻学問分野と関連分野に関する高度な専門知識を有する。(知識・理解) (AP2) 自らの学問的問題を計画的、継続的、系統的に探究できる。(思考・判断) (AP3) 専攻学問分野に貢献する学問的問題の発見と探究に意欲をもっている。(関心・意欲) (AP4) 専攻学問分野の高度な探究に必要な読解力と表現力を有している。(技能・表現)	
【出題の意図】 出題意図は、各時代ともに概ね次の通りである。各時代の基本的な史料を、文中の用語の意味を正確に理解した上で訓読および現代語訳する力、史料に関連する時代の状況等についての知識の他、各時代の基礎的な歴史用語についての知識の有無を確認することである。 【出題内容、解答・解答例、採点のポイント等】 問一は正倉院文書「奉写御執経所奉請文」、問二は「天台座主良源起請」、問三は明治十一年の琉球藩庁の書簡から出題した。書き下し文や現代語訳の作成、用語の読みや説明、史料が書かれた時代について知識などが問われている。古文や漢文の読解能力、文章を的確に要約する能力、および現代日本語を的確に表記する能力が求められる。さらに専門的な研究を進める上で不可欠な、研究対象とする時代の状況に関する研究状況を含む基礎的な知識、およびこれを的確に要約し表現する能力が求められる。	

年度 / AY	2025
研究科 / Graduate School	人文学研究科
課程 / Program	修士課程 博士後期課程
専攻 / Major	真宗学 仏教学 哲学 仏教文化 国際文化 教育・心理学 全専攻共通
入試方式 / Admission Method	一般(秋季) 一般(春季) 留学生入試 社会人
試験科目 / Exam Subject	専門(日本文学) 外国語 日本語 小論文
出題意図／解答又は解答例 Intent of the question / Answer or example of answer 著作物の権利等の理由により掲載していない試験問題等 ➡ 該当あり (Reasons for not publishing exam questions)	
<p>【入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー AP）】</p> <p>教育目標を達成するために、大学院博士後期課程で求めているのは、次のような人である。</p> <p>(AP1) 専攻学問分野と関連分野に関する高度な専門知識を有する。(知識・理解)</p> <p>(AP2) 自らの学問的問題を計画的、継続的、系統的に探究できる。(思考・判断)</p> <p>(AP3) 専攻学問分野に貢献する学問的問題の発見と探究に意欲をもっている。(関心・意欲)</p> <p>(AP4) 専攻学問分野の高度な探究に必要な読解力と表現力を有している。(技能・表現)</p>	
<p>【出題の意図】</p> <p>日本近現代文学の基礎知識と論説文の読解力および思考力を問う。 併せて論説文に対応しうる文章表現力を有しているかを確認する。</p> <p>【出題内容、解答・解答例、採点のポイント等】</p> <p>三好行雄「作品分析の方法」（『国文学 解釈と鑑賞』1962年5月号）からの出題。文学作品を分析するとはどういうことか、という原理的問題を追究する文章である。主要な対象となるのは私小説であり、内容を問う問題はこの文章の問題意識に沿うものである。私小説の問題も含めて、文学史からの出題もある。</p>	

年度 / AY	2025
研究科 / Graduate School	人文学研究科
課程 / Program	修士課程 <u>博士後期課程</u>
専攻 / Major	真宗学 仏教学 哲学 <u>仏教文化</u> 国際文化 教育・心理学 全専攻共通
入試方式 / Admission Method	一般(秋季) <u>一般(春季)</u> 留学生入試 社会人
試験科目 / Exam Subject	<u>専門(中国文化関係中国文)</u> 外国語 日本語 小論文
出題意図／解答又は解答例 Intent of the question / Answer or example of answer 著作物の権利等の理由により掲載していない試験問題等 ➡ 該当あり (Reasons for not publishing exam questions)	
<p>【入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー AP）】</p> <p>教育目標を達成するために、大学院博士後期課程で求めているのは、次のような人である。</p> <p>(AP1) 専攻学問分野と関連分野に関する高度な専門知識を有する。(知識・理解)</p> <p>(AP2) 自らの学問的問題を計画的、継続的、系統的に探究できる。(思考・判断)</p> <p>(AP3) 専攻学問分野に貢献する学問的問題の発見と探究に意欲をもっている。(関心・意欲)</p> <p>(AP4) 専攻学問分野の高度な探究に必要な読解力と表現力を有している。(技能・表現)</p>	
<p>【出題の意図】</p> <p>漢文文献の読解能力を問う。</p> <p>中国の歴史・文学・思想などの基礎的な知識を問う。</p> <p>【出題内容、解答・解答例、採点のポイント等】</p> <p>玄奘の伝記である『大慈恩寺三蔵法師伝』巻一の冒頭から出題。玄奘の伝記を読み、書き下し文や現代語訳を作成させる。さらに文章に関連する事項として、玄奘についての知るところを記述させ、歴史や仏教についての知識の修得状況を見る。</p>	

年度 / AY	2025
研究科 / Graduate School	人文学研究科
課程 / Program	修士課程 博士後期課程
専攻 / Major	真宗学 仏教学 哲学 仏教文化 国際文化 教育・心理学 全専攻共通
入試方式 / Admission Method	一般(秋季) 一般(春季) 留学生入試 社会人
試験科目 / Exam Subject	専門(西洋文化西洋史) 外国語 日本語 小論文
出題意図／解答又は解答例 Intent of the question / Answer or example of answer 著作物の権利等の理由により掲載していない試験問題等 ➡ 該当あり (Reasons for not publishing exam questions)	
<p>【入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー AP）】</p> <p>教育目標を達成するために、大学院博士後期課程で求めているのは、次のような人である。</p> <p>(AP1) 専攻学問分野と関連分野に関する高度な専門知識を有する。(知識・理解)</p> <p>(AP2) 自らの学問的問題を計画的、継続的、系統的に探究できる。(思考・判断)</p> <p>(AP3) 専攻学問分野に貢献する学問的問題の発見と探究に意欲をもっている。(関心・意欲)</p> <p>(AP4) 専攻学問分野の高度な探究に必要な読解力と表現力を有している。(技能・表現)</p>	
<p>【出題の意図】</p> <p>西洋史を学ぶのに必要である英語の能力を修得しているかを問う。</p> <p>歴史学という学問の性格を理解し、それを踏まえて自分の研究テーマを考えることができているかを問う。</p> <p>【出題内容、解答・解答例、採点のポイント等】</p> <p>E・H・カーの講演「歴史とは何か」からの出題。そのなかの一文の意味を著者の主張を踏まえて記述させ、著者の意見を参考にしつつ自分の研究テーマについて説明させる。正確な英語の読解力と、自分の研究テーマを歴史学的意味を踏まえ説明できるかが問われる。</p>	

年度 / AY	2014
研究科 / Graduate School	人文学研究科
課程 / Program	修士課程 <u>博士後期課程</u>
専攻 / Major	真宗学 仏教学 哲学 仏教文化 <u>国際文化</u> 教育・心理学 全専攻共通
入試方式 / Admission Method	一般(秋季) <u>一般(春季)</u> 留学生入試 社会人
試験科目 / Exam Subject	<u>専門(共通問題)</u> 外国語 日本語 小論文
出題意図／解答又は解答例 Intent of the question / Answer or example of answer 著作物の権利等の理由により掲載していない試験問題等 ➡ 該当あり (Reasons for not publishing exam questions)	
<p>【入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー AP）】</p> <p>教育目標を達成するために、大学院博士後期課程で求めているのは、次のような人である。</p> <p>(AP1) 専攻学問分野と関連分野に関する高度な専門知識を有する。(知識・理解)</p> <p>(AP2) 自らの学問的問題を計画的、継続的、系統的に探究できる。(思考・判断)</p> <p>(AP3) 専攻学問分野に貢献する学問的問題の発見と探究に意欲をもっている。(関心・意欲)</p> <p>(AP4) 専攻学問分野の高度な探究に必要な読解力と表現力を有している。(技能・表現)</p>	
<p>【出題の意図】</p> <p>本学人文学研究科のアドミッション・ポリシーを踏まえ、以下三点をはかる意図で出題した。①各専攻学問分野に関する基礎的知識と文献読解力を有しているか ②探究を深めることができる論理的な考察力を有しているか ③博士論文執筆に必要となる読解力と表現力を有しているか</p> <p>【出題内容、解答・解答例、採点のポイント等】</p> <p>専門 I は、「あなたの研究テーマを深める上で、文化とアイデンティティの問題はどのように関わってくると思いますか。具体的に論じなさい」という自由記述問題であり、自身の研究の内容と方向性を何らかのキーワードに基づく視点（ここでは文化とアイデンティティ）から捉えて位置づけ直す力をはかることで、自立した研究者に必要な、自身の研究を相対化し客観視する能力を確かめる出題である。</p>	

年度 / AY	2014
研究科 / Graduate School	人文学研究科
課程 / Program	修士課程 博士後期課程
専攻 / Major	真宗学 仏教学 哲学 仏教文化 国際文化 教育・心理学 全専攻共通
入試方式 / Admission Method	一般(秋季) 一般(春季) 留学生入試 社会人
試験科目 / Exam Subject	専門(英語文献・ドイツ語文献・フランス語文献・中国語文献) 外国語 日本語 小論文
出題意図／解答又は解答例 Intent of the question / Answer or example of answer 著作物の権利等の理由により掲載していない試験問題等 ➡ 該当あり (Reasons for not publishing exam questions)	
<p>【入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー AP）】</p> <p>教育目標を達成するために、大学院博士後期課程で求めているのは、次のような人である。</p> <p>(AP1) 専攻学問分野と関連分野に関する高度な専門知識を有する。(知識・理解)</p> <p>(AP2) 自らの学問的問題を計画的、継続的、系統的に探究できる。(思考・判断)</p> <p>(AP3) 専攻学問分野に貢献する学問的問題の発見と探究に意欲をもっている。(関心・意欲)</p> <p>(AP4) 専攻学問分野の高度な探究に必要な読解力と表現力を有している。(技能・表現)</p>	
<p>【出題の意図】</p> <p>本学人文学研究科のアドミッション・ポリシーを踏まえ、以下三点をはかる意図で出題した。①各専攻学問分野に関する基礎的知識と文献読解力を有しているか ②探究を深めることができる論理的な考察力を有しているか ③博士論文執筆に必要となる読解力と表現力を有しているか</p> <p>【出題内容、解答・解答例、採点のポイント等】</p> <p>専門 II は、英語・ドイツ語・フランス語・中国語で書かれた文章の全体または一部を和訳する問題が中心であり、いずれかの言語で書かれた文献を読むための基本的な読解力と内容理解力をはかるものである。英語では、読解すべき文章だけでなく問題文もすべて英文であるが、解答については日本語による解答を求める問いと英語による解答を求める問いが用意されており、作文力よりも主に読解力をはかるための設問となっている。他の言語では、和訳だけでなく、代名詞の指示語やキーワードの説明、文章の内容を踏まえた短い論述など、正確な読解に基づく内容理解ができているかを確かめる設問を伴うものもある。</p>	

年度 / AY	2025
研究科 / Graduate School	人文学研究科
課程 / Program	修士課程 博士後期課程
専攻 / Major	真宗学 仏教学 哲学 仏教文化 国際文化 教育・心理学 全専攻共通
入試方式 / Admission Method	一般(秋季) 一般(春季) 留学生入試 社会人
試験科目 / Exam Subject	専門 外国語(英語) 日本語 小論文
出題意図／解答又は解答例 Intent of the question / Answer or example of answer 著作物の権利等の理由により掲載していない試験問題等 ➡ 該当あり (Reasons for not publishing exam questions)	
<p>【入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー AP）】</p> <p>教育目標を達成するために、大学院博士後期課程で求めているのは、次のような人である。</p> <p>(AP1) 専攻学問分野と関連分野に関する高度な専門知識を有する。(知識・理解)</p> <p>(AP2) 自らの学問的問題を計画的、継続的、系統的に探究できる。(思考・判断)</p> <p>(AP3) 専攻学問分野に貢献する学問的問題の発見と探究に意欲をもっている。(関心・意欲)</p> <p>(AP4) 専攻学問分野の高度な探究に必要な読解力と表現力を有している。(技能・表現)</p>	
<p>【出題の意図】</p> <p>本学人文学研究科のアドミッション・ポリシーを踏まえ、以下三点をはかる意図で出題したものであり、とりわけ①の文献読解力、ならびに③の読解力をはかることが主眼である。①各専攻学問分野に関する基礎的知識と文献読解力を有しているか ②探究を深めることができる論理的な考察力を有しているか ③博士論文執筆に必要となる読解力と表現力を有しているか</p>	
<p>【出題内容、解答・解答例、採点のポイント等】</p> <p>英語で書かれた文章の内容理解を問う問題と部分訳を行う問題が中心であり、英語文献を読むための基本的な読解力と内容理解力をはかるものである。英語では、読解すべき文章だけでなく問題文もすべて英文であるが、解答については日本語による解答を求める問いと英語による解答を求める問いが用意されており、英作文力よりも主に読解力をはかるための設問となっている。</p>	

年度 / AY	2025
研究科 / Graduate School	人文学研究科
課程 / Program	修士課程 博士後期課程
専攻 / Major	真宗学 仏教学 哲学 仏教文化 国際文化 教育・心理学 全専攻共通
入試方式 / Admission Method	一般(秋季) 一般(春季) 留学生入試 社会人
試験科目 / Exam Subject	専門 外国語(ドイツ語) 日本語 小論文
出題意図／解答又は解答例 Intent of the question / Answer or example of answer 著作物の権利等の理由により掲載していない試験問題等 ➡ 該当あり (Reasons for not publishing exam questions)	
<p>【入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー AP）】</p> <p>教育目標を達成するために、大学院博士後期課程で求めているのは、次のような人である。</p> <p>(AP1) 専攻学問分野と関連分野に関する高度な専門知識を有する。(知識・理解)</p> <p>(AP2) 自らの学問的問題を計画的、継続的、系統的に探究できる。(思考・判断)</p> <p>(AP3) 専攻学問分野に貢献する学問的問題の発見と探究に意欲をもっている。(関心・意欲)</p> <p>(AP4) 専攻学問分野の高度な探究に必要な読解力と表現力を有している。(技能・表現)</p>	
<p>【出題の意図】</p> <p>本学人文学研究科のアドミッション・ポリシーを踏まえ、以下三点をはかる意図で出題したものであり、とりわけ①の文献読解力、ならびに③の読解力をはかることが主眼である。①各専攻学問分野に関する基礎的知識と文献読解力を有しているか ②探究を深めることができる論理的な考察力を有しているか ③博士論文執筆に必要となる読解力と表現力を有しているか</p>	
<p>【出題内容、解答・解答例、採点のポイント等】</p> <p>ドイツ語で書かれた文章の下線部を和訳する問題が中心であり、ドイツ語文献を読むための基本的な読解力と内容理解力をはかるものである。人称代名詞の指示内容を明らかにする和訳問題もあるため、文法知識に裏付けられた正確な読解力が求められる。</p>	

年度 / AY	2025
研究科 / Graduate School	人文学研究科
課程 / Program	修士課程 <u>博士後期課程</u>
専攻 / Major	真宗学 仏教学 哲学 仏教文化 国際文化 教育・心理学 <u>全専攻共通</u>
入試方式 / Admission Method	一般(秋季) <u>一般(春季)</u> 留学生入試 社会人
試験科目 / Exam Subject	専門 <u>外国語(フランス語)</u> 日本語 小論文
出題意図／解答又は解答例 Intent of the question / Answer or example of answer 著作物の権利等の理由により掲載していない試験問題等 ➡ 該当あり (Reasons for not publishing exam questions)	
<p>【入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー AP）】</p> <p>教育目標を達成するために、大学院博士後期課程で求めているのは、次のような人である。</p> <p>(AP1) 専攻学問分野と関連分野に関する高度な専門知識を有する。(知識・理解)</p> <p>(AP2) 自らの学問的問題を計画的、継続的、系統的に探究できる。(思考・判断)</p> <p>(AP3) 専攻学問分野に貢献する学問的問題の発見と探究に意欲をもっている。(関心・意欲)</p> <p>(AP4) 専攻学問分野の高度な探究に必要な読解力と表現力を有している。(技能・表現)</p>	
<p>【出題の意図】</p> <p>本学人文学研究科のアドミッション・ポリシーを踏まえ、以下三点をはかる意図で出題したものであり、とりわけ①の文献読解力、ならびに③の読解力をはかることが主眼である。①各専攻学問分野に関する基礎的知識と文献読解力を有しているか ②探究を深めることができる論理的な考察力を有しているか ③博士論文執筆に必要となる読解力と表現力を有しているか</p>	
<p>【出題内容、解答・解答例、採点のポイント等】</p> <p>フランス語で書かれた文章を和訳する問題が中心であり、フランス語文献を読むための基本的な読解力と内容理解力をはかるものである。人称代名詞や中性代名詞、先行詞等の指示内容を問う問題もあるため、文法知識に裏付けられた正確な読解力が求められる。</p>	

年度 / AY	2025
研究科 / Graduate School	人文学研究科
課程 / Program	修士課程 <u>博士後期課程</u>
専攻 / Major	真宗学 仏教学 哲学 仏教文化 国際文化 教育・心理学 <u>全専攻共通</u>
入試方式 / Admission Method	一般(秋季) <u>一般(春季)</u> 留学生入試 社会人
試験科目 / Exam Subject	専門 <u>外国語(中国語)</u> 日本語 小論文
出題意図／解答又は解答例 Intent of the question / Answer or example of answer 著作物の権利等の理由により掲載していない試験問題等 ➡ 該当あり (Reasons for not publishing exam questions)	
<p>【入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー AP）】</p> <p>教育目標を達成するために、大学院博士後期課程で求めているのは、次のような人である。</p> <p>(AP1) 専攻学問分野と関連分野に関する高度な専門知識を有する。(知識・理解)</p> <p>(AP2) 自らの学問的問題を計画的、継続的、系統的に探究できる。(思考・判断)</p> <p>(AP3) 専攻学問分野に貢献する学問的問題の発見と探究に意欲をもっている。(関心・意欲)</p> <p>(AP4) 専攻学問分野の高度な探究に必要な読解力と表現力を有している。(技能・表現)</p>	
<p>【出題の意図】</p> <p>本学人文学研究科のアドミッション・ポリシーを踏まえ、以下三点をはかる意図で出題したものであり、とりわけ①の文献読解力、ならびに③の読解力をはかることが主眼である。①各専攻学問分野に関する基礎的知識と文献読解力を有しているか ②探究を深めることができる論理的な考察力を有しているか ③博士論文執筆に必要となる読解力と表現力を有しているか</p>	
<p>【出題内容、解答・解答例、採点のポイント等】</p> <p>中国語で書かれた文章を和訳する問題で、中国語文献を読むための基本的な読解力と内容理解力をはかるものである。中国語の論説文の論旨を正しく捉えて和訳する力が求められる。</p>	